

富士市立高等学校「究タイム」市役所プラン

「地域へ飛び出す、高校生職員！！」

地域

×

高校生

=



の未来

1.市役所プランとは？

富士市立高等学校では、総合的な学習の時間「究タイム」において、2年生の全生徒が、自らが暮らす地域の課題を発見し、その解決を目指して何ができるか、半年間じっくりと向き合う学習を行っています。この学習では、実際に地域の方と出会い、様々な思いを共有することで、地域の抱える問題の大きさに気付き、その解決のために自分達にできることを必死に考えることで、地域住民の一人として、地域課題とその現状を知り、その解決に向けて何をすればよいかを理解し、その解決に向けて自ら行動できる力を育成することを目的としています。

2.本年度の取組は？

本年度は、市内26地区で設立された、「概ね小学校区を範囲として住民主体のまちづくりを進める組織、「まちづくり協議会」の役員の皆様や、活動の拠点となる「まちづくりセンター」の職員を訪問し、インタビューやフィールドワークを通じて、地域が抱える課題や、地域の魅力、資源等を知り、地域課題の解決に向けて、高校生自身ができることを考え、プランとして提案していきます。

また、現在、「まちづくり協議会」では、地区の目指すべき将来像に向けて、地区住民ができることを明確化した「まちづくり行動計画」の策定に取り組んでおり、高校生達のアイデアがこの計画作りに向けた取組の刺激となることも期待されます。

3.活動期間は？

活動期間は、平成27年4月から9月の6ヶ月間です。

※可能な限り10月以降も地域での活動を続けていきたいと考えています。

4.対象生徒は？

2年生の全生徒231人です。それぞれ5～6人の班を作り、プランを考えていきます。

※総合探究科3クラス、ビジネス探究科2クラス、スポーツ探究科1クラス

5.今回ご協力いただく地区は？

市内10地区の「まちづくり協議会」の皆様にご協力をいただいています。

<10地区の内訳>

吉原地区、吉永地区、須津地区、神戸地区、天間地区、丘地区、岩松地区、松野地区、富士駅北地区、田子浦地区

6.今年度の取組経過は？

○4月10日（金）【「究タイム」オリエンテーション】

- ・市民部まちづくり課から「富士市の地区まちづくり活動」説明
- ・東北芸術工科大学 岡崎准教授(studio-L コミュニティデザイナー)によるまちづくりワークショップ



【コミュニティデザイナー岡崎エミさんによる講演】



【「富士市の未来を考える」まちづくりワークショップの様子】

○5月12日（火）【各地区での体験学習】

場所：各10地区のまちづくりセンター

※各地区まちづくり協議会の皆様やまちづくりセンターの職員に、地域の魅力・課題についてのインタビューを行ったり、一緒にまち歩きを行ったりしました。



【富士駅北地区でのグループディスカッションの様子】



【岩松地区でのまち歩きの様子(雁堤)】

○6月26日（金）【中間発表会】 場所：富士市立高等学校

※ここまでの活動を通して検討した課題解決プランを、まちづくり協議会の皆様をはじめとした関係者の方々に発表しました。



【地区をフィールドにしたプラン発表】



【まちづくり協議会の皆さんからの講評】

○7月末～8月中旬【班別独自調査】 場所：各10地区

※中間発表を踏まえて、プラン再構成に向けた各地区での独自調査を行いました。

○9月30日（水）【究タイム前期発表会】 場所：富士市立高等学校

※地域課題解決プランの最終提案を、まちづくり協議会の皆様をはじめとした関係者の方々に向けて発表しました。



【最終プラン発表】



【まちづくり協議会の皆さんからの講評】

7.地区活動への波及

○高校生提案を実現化

- ・天間地区：まちづくり協議会の中に、「てんまんじゅう」のプロジェクトチームが立ち上がり、地区の梅まつりで「てんまんじゅう」をお披露目しました。

○高校生提案を地区内に共有

- ・松野地区：地区の文化祭のステージにて、高校生たちの提案を発表しました。

○地区行政懇談会を体感

- ・丘地区：地区行政懇談会の場に高校生が出席しました。



【天間地区梅まつりにて市長と】



【松野地区おぐるま文化祭での発表】